

## 令和 7 年度 富谷市立成田東小学校 学校関係者評価書

令和 8 年 2 月 1 6 日  
学校関係者評価委員会

氏 名  
氏 名  
氏 名  
氏 名

### 1 総評

#### (1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- 人と人とのふれ合いを大切にし、思いやりのある子供を育てるために、気持ちのよい「あいさつ」や「返事」のできる児童の育成を図る。自分から進んで行動することの気持ちよさを指導し、自発的に「あいさつ」や「返事」ができるよう励ましていく。

→朝会での校長からの話や、各担任からの声掛けにより、以前よりも自発的な「あいさつ」は、少しずつ増えてきている。校内にあいさつ啓発の掲示をしたり、教師が率先してあいさつをしたりするなどして取り組んでいるが、引き続き啓蒙する必要があると感じる。あいさつが活発な地域は犯罪が少ないこと、あいさつが返ってこなくても、引き続き大人は変わらず粘り強くあいさつを続けていく必要があると助言をいただいた。

#### (2) 成果について

- ・富谷市つなぐ取組の積極的な活用を今年度も行い、地域の方々との交流する機会を意図的に図ることができた。
- ・情報教育について、児童が授業でタブレット等の I C T 機器を用いて、日常的に様々な学習で活用することができた。
- ・児童アンケートより、進んで運動をしていると答えている児童が全体の 8 7 % となり、昨年度より大きく向上した。体育の授業における運動の楽しさを実感できる工夫や、休み時間の外遊びの奨励が、運動への意欲につながったと考えられる。
- ・生徒指導において、教職員で常に情報交換を行うなど、連携を図りながら児童を見守ることができている。また、児童アンケートを定期的に行うとともに、迅速かつ丁寧に児童から話を聞き解決を図っている。その成果もあり、大きな問題まで発展することなく学校生活を送ることができている。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・なりひがアルカスの活動に取り組んでいるが、やらされているという感じを受ける。もう少し改善が必要だと感じている。
- ・児童に対しての情報モラルの育成については、より指導をしていかなければならないと感じている。タブレットの約束を守っていない児童も見られており、子供同士のトラブルも少しずつ増えてきている。学年に応じて、系統立てて情報モラルを指導する必要がある。場合によっては、外部の講師を招いて学習することも考えなければならない。
- ・あいさつについては、少しずつ改善してきているが、まだまだ声掛けや指導が必要である。何より児童と教員の関係性があいさつに大きく影響している。少しでも関係性を築き、児童の自発的なあいさつにつなげていきたい。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	○学校便り・なりひが日記（HP）等で、子供たちや学校の様子が分かるのでよい。 ○細かな情報がメールで来てよく分かりました。 ○どんなことを学んでいるのか知れると、より親近感や応援する心が育つと思いました。 ○今年度は、クマの情報が多かったが、不審者情報等迅速に発信されていたと思う。 ○一輪車の処分やミシンなど、もう少し新しいものにしてほしい。 ○異年齢集団による活動は大切なこと。継続していただきたい。人間関係に必要。
	2 魅力ある学校	B	
	3 施設・設備	B	
	4 安全管理	B	
	5 教職員の資質の向上	B	
	6 特色ある教育活動等	A	
教育課程	1 確かな学力	B	○校外学習や社会科見学等、普段家庭だけではさせてあげられないような経験をさせていただいております（トヨタ、花山など）。 ○健康あって全てスタートです。 ○相談室は常にオープンで、入りやすく相談しやすくしていただきたい。 ○あいさつは、基本の基本です。第一印象が大切です。
	2 豊かな心身	B	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	B	
	5 特色ある教育活動等	B	
課題教育	1 環境教育	B	○環境への意識・関心を持つことが大切です。 ○情報教育は、これからの社会に欠かせません。置き去りの子供がいないよう指導してほしい。ルールについても同様です。 ○特別支援の子供たちには、優しく、ほめて、よいところを伸ばしてください。 ○タブレットで調べることが多くなり、本で調べる機会が減っているのではないかと不安である。 ○アルカスとしてやっている自覚がないように見える。やらされているという感じ。
	2 情報教育	B	
	3 特別支援教育	B	
	4 図書館教育	B	
	5 健康教育	B	
	6 特色ある教育活動等	B	
地域との連携について		A	○地域と学校・家庭をつなぐ取組を活用し、地域の人々と接する機会がありよかったと思う。
いじめ問題への取り組み		A	○先生が未然に防止できるよう、小さなことにも反応しアフターフォローしていただいています ○子供同士の帰り道のトラブル時にご対応くださいました。